

未来を担う若者を支援

リウコン(株)(大城正治代表取締役社長から、12月28日に西原町人材育成会(上間明会長)へ50万円の寄付がありました。大城社長は「社会に貢献し、信頼され続けることに邁進する」という社訓に則り、寄付できることを嬉しく思います。西原町の人材育成のために役立ててください」と述べました。



写真左:大城社長

生きる力を育む

子ども会の指導者、育成者として尽力してきた比嘉清美さん(写真左から2番目)に、(公社)全国子ども会連合会から表彰状が授与されました。表彰対象は、子ども会に20年以上継続で活動してきた方です。比嘉さんは24年間の勤続で、西原町から4人目の受賞です。

比嘉さんは「子どもたちの生きる力を育むため取り組んできて、気が付くと24年が経ちました。今後も、指導者として地域子ども会の普及と後継者づくりに励みます」とこれまでの振り返りと抱負を語りました。



宇宙から声が聞こえたよ

宇宙飛行士の声を受信する企画が12月4日に西原町役場の駐車場で行われました。これは学童みらいクラブ(宮城トモ子代表)の自主企画で、県外の小学校で宇宙飛行士と交信をする国際宇宙ステーションのイベントがあり、その宇宙飛行士の声を聞いてみよう企画されたものです。アンテナは、角材やアルミの棒などで学童に通う子どもたちが製作しました。声が聞こえた時は、子どもたちや保護者から「とてもはつきり聞こえた」と驚きの声がありました。

アンテナ製作中

宇宙飛行士の声を受信するようす

昇格を勝ち取る

琉球大学アイスホッケー部が九州学生リーグの2部を全勝で制し、沖縄県勢初の同リーグの1部昇格を果たしました。同部は、元オリンピック選手をコーチに迎え、順当に力を蓄え、昨年3部から2部へ昇格し、そして今年1部昇格を勝ち取りました。



アイスホッケー部のみなさん

なぎなたで大活躍

西原なぎなたクラブに所属する児童が12月20日に開催された第15回おきでん旗争奪・第34回沖縄県なぎなた大会(沖縄県立武道館)で、好成績を収めました。3月27日に開催予定の第34回若獅子旗なぎなた大会(福岡県)へ同クラブから選抜されたメンバーが派遣されるのが決定しています。

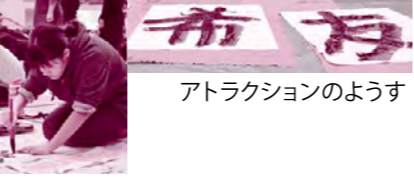
筆先に思いをこめて

新春書き初め大会(町教育委員会・町文化協会 共催)が1月9日に町民体育館で開催されました。幼児から大人まで約100名が参加し、思い思いの文字を書きました。

最優秀賞に「天下泰平」を書いた寄川孝ノ慎くん(沖繩カトリック小5年)が選ばれました。また、町内小中学校4校それぞれの代表生徒が縦横160cmの半紙に、毛が24cmの大筆を使い、文字を書くアトラクションも行われました。小宮晴夏さん(坂田小6年)は「子どもたちを大切にしたい」という思いから「友」の字を書きました。



書くようす



アトラクションのようす

- 【小学校3・4年生の部】  
2位・瀬長拓夢(西原小3年)、平安名はな(北谷小4年)
- 3位・宮平沙和(西原小4年)、當間向優(同小3年)、宮平奈沙(同小2年)、砂川凜(琉大附属小4年)
- 【小学校5・6年生の部】  
3位・宮城心音(西原小5年)、桃原向日葵(同小6年)
- 個人試合  
【小学校3・4年生の部】  
3位・瀬長拓夢



西原なぎなたクラブのみなさん

安心してください 守りますよ

平成28年東部消防組合「消防出初式」が、1月6日に同組合構内で開催されました。式典(1部)式辞で、管理者の城間俊安南風原町長は「今後も心身や技術の鍛錬に努め、安全・安心なまちづくりに取り組んでほしい」と激励の言葉を送りました。また、外間裕紀消防署員は「実践的な防災教育を行うことで、自らの命を守るができます」と意見発表を行いました。



服装点検のようす

救助訓練のようす

節水で大切にしよう ぼくらのしげん

西原町水道週間作文・標語表彰式が12月25日に西原町議会議事堂で行われました。小学校4年生を対象に募集し、生活を支える役割を果たしている水道に対する理解と関心を深め、限りある水資源(水道)の有効利用をアピールすることを目的としています。



ポスターで深夜はいかい防止

儀間咲希さん(坂田小6年、写真中央)が平成27年度「青少年の深夜はいかい防止県民一斉行動」作文・ポスター・標語コンテストのポスターの部において、沖縄県知事賞を受賞しました。絵を描くことが大好きだという儀間さんは「深夜徘徊に関する話を聞き、イメージを膨らませて描きました。夜のイメージを出すための色合いに苦労しました。先生から受賞の報告を聞いた時にはとても驚きました」と話しました。



儀間さんは浦添警察署長からも最優秀賞を受賞しています。